

自己評価について

○保育指導

「物事に対する善悪の判断」、「基本的な生活習慣(衣服の着脱・排泄・食事等)」の項目は高評価となっている。乳児期より、生活の基盤となるものを大切に保育に臨んでいるとうかがえる。

○保護者との連携

保護者の不安を払拭出来るよう、職員一人ひとりが保護者との連絡をしっかりと取り、要望に応えようと心掛けている。子供の体調や怪我等について伝えるだけでなく、生活する中での様子を伝える事で、園と家庭で連携を取りながら一緒に子供を育てていき、一人ひとりの成長を楽しみにしていきたい。

○学級経営

受け持ち学年だけでなく、他学年とも話し合いをする様に日頃から心掛けている。今後も連携や情報共有のため、互いに相談したり協力し合っていく中で職員同士のコミュニケーションを大切にしていきたい。

○安全

「子供達の活動に伴う安全への配慮や注意喚起」の項目は、昨年度から評価が下がっている。安全面に配慮して見守っているが、学年によっては伝わりにくい場面もあるためではないかと思われる。今後も個々に合った声掛けを意識し、安全に過ごせるよう、しっかりと伝えていくようにしていきたい。

○衛生管理

今年度は、「保育室や園全体の清掃・整理整頓」の評価が低かった。トイレ掃除や保育室の掃除等行っているが、時間が十分に取れていない事が理由として考えられる。気付いた時に少しでも取り組む事と併せて、2学期末よりトイレ掃除の分担を始めている。

○研修

昨年同様、園外への研修や Zoom 研修等それぞれに参加が出来ていたと思う。又、園内研修では救急対応や、サントレ研修等時間を設けて少人数ずつ日にちを分けながら実施することが出来た。引き続き、保育の資質向上のため参加、実施していきたい。

○その他

意思疎通や情報交換等の連絡事項は、日頃から職員一人ひとりが気を付けているように思う。自己の思いを表出し、自ら情報の発信元となるように意識を高めていけるような職場作りに努めなければならない。

○まとめ

昨年度と比較して大差は見られなかったが、裏を返せば低い評価は低いままである。職員の思いをひとつにできるよう、職員同士が積極的にコミュニケーションをとり、協力し合って日々の業務に取り組み、意識を高めていくようにしたい。また、子供一人ひとりにしっかりと向き合い、保護者と共に子供を育てていけるよう努めていきたい。